

第1回

オアシスへのいざない ～エジプト西方沙漠～

古川 桂 × 中野智章
Kogawa Katsura *Nakano Tomoaki*

東京工業大学亀井研究室では、2001年よりエジプト西方沙漠にあるハルガ・オアシスで考古遺跡の調査を行っています。ピラミッドをはじめ、ナイル川流域には有名な古代エジプトの遺跡がたくさんありますが、ナイル川の西の砂漠に点在するオアシスにも、古代エジプト文明の痕跡を見ることができます。今回は、これまで行ってきたハルガ・オアシスでの研究成果を中心に、皆様あまり知られていないオアシス地域の自然や歴史をご紹介します。



- ◆日時：2008年5月22日（木） 午後6時から8時まで
- ◆会場：東京工業大学正門すぐ 百年記念館3階 フェライト会議室
- ◆対象：どなたでも（小中学生の方は、夜間なので保護者の方と来て下さい）
参加無料・定員60名
- ◆申込先：下記へ電子メールまたはFAXにて「氏名・連絡先」をご連絡ください
東京工業大学百年記念館（Tel：03-5734-3340）
E-mail：centcafe@jim.titech.ac.jp Fax：03-5734-3348



古川桂（東京工業大学人間行動システム専攻博士課程）

亀井研究室にてエジプト学を研究。
2006年より、ハルガ・オアシスのアル・ザヤーン神殿遺跡調査に参加。

中野智章（古代オリエント博物館研究員）

古川氏と同じく2006年よりアル・ザヤーン神殿遺跡調査に参加し、ペルシアやギリシア、ローマといった大文明が続々と押し寄せたエジプト最大のオアシスであるハルガの「謎とき」にはまっている39才。

＜サイエンスカフェとは＞

サイエンスカフェとは、一般の講演会とは異なり講演者と聴衆がお茶や軽食をとりながらざっくばらんに語り合い、理解を深めていこうという催しです。

東京工業大学百年記念館では、2007年度に引き続き、2008年度も皆様にサイエンスを身近に感じ頂ける機会として「サイエンスカフェ2008」を開催致します。皆様、奮ってご参加ください。